

どうして進まないの！ 泉中央駅ペDESTロリアンデッキの改修

～斎藤のりお事務所「地域の課題を考え隊」調査員・庄司の報告～

市民の皆様から、泉中央駅ペDESTロリアンデッキに関するご意見・ご要望が多数寄せられています。そこで、責任者である泉区長に調査員・庄司がお話を伺ってきました。

泉区長へのインタビュー

Q 泉中央駅ペDESTロリアンデッキは、路面のタイルが損傷し、雨漏りもひどい。大震災によるものですか？

泉区長 泉中央駅が開業して17～18年経過した頃から路面の損傷や雨漏りなど老朽化が進み、計画的な改修を行おうとした矢先に、震災によりさらにデッキの継ぎ目にあたるエキスパンションジョイントや排水装置、床面タイル等が損傷したものです。



雨漏りを避けながら歩く駅利用者

Q 改修工事は、何年計画でいつから行っているのですか？

泉区長 平成23年度から平成27年度までの5か年計画です。

Q 計画の3年目ですが、工事があまり進んでいません。どうして遅れているのですか？

泉区長 デッキ内部の排水装置については、震災後、追加で損傷個所の調査や設計を行ったために時間を要しました。また、工事の範囲が広範囲であること。さらに、道路復旧工事に人手がとられ、十分な作業員が確保できなかったことなどによるものです。

Q 計画期間内の工事完了は可能でしょうか？

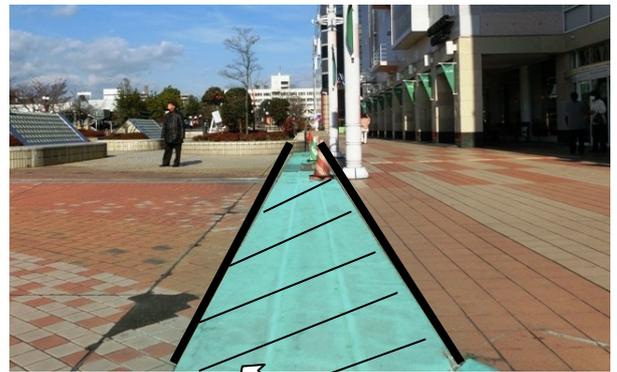
泉区長 雨漏りなど泉中央駅をご利用の皆様には、大変ご迷惑をおかけしております。泉中央駅は仙台の北の玄関口であり、地下鉄を利用される方、あるいは泉区に来られる方にとって利便性の高い交通拠点だけでなく、にぎわいのある交流空間として、大変重要な場所です。【右上段へ続く】

【左下段より続く】

改修には多額の経費がかかりますので、予算を確保し、できるだけ早期に完了できるよう取り組んでまいります。

Q 完成はまだ先とのことですが、雨漏りに対する応急措置はどのようになっていますか？

泉区長 これまで雨漏りのする天井箇所をブルーシートで覆ったり、仮囲いを行ってまいりましたが、年度末までの工期で天井内の排水装置の改修工事を進めておりますので、バスプール付近の漏水は大部分解消される見込みです。



ブルーシートで応急措置

Q 改修後の路面はどのようになりますか？

泉区長 現在のタイルは、はがれや害れが発生しているので、滑りにくく強度のあるアスファルト塗装にタイル模様をデザインしたものに変更します。

庄司：今日はありがとうございました。泉中央駅は利用者の多い駅です。利用者の不便・不安を一日も早く解消していただくようお願いします。

地域のことについて、ご意見ご相談ご質問はお気軽にどうぞ。



◇斎藤のりお事務所◇

〒981-3133 仙台市泉区泉中央 3-27-10

TEL & FAX 022-375-2101

ホームページ <http://www.saito-norio.net>

E-Mail info@saito-norio.net